

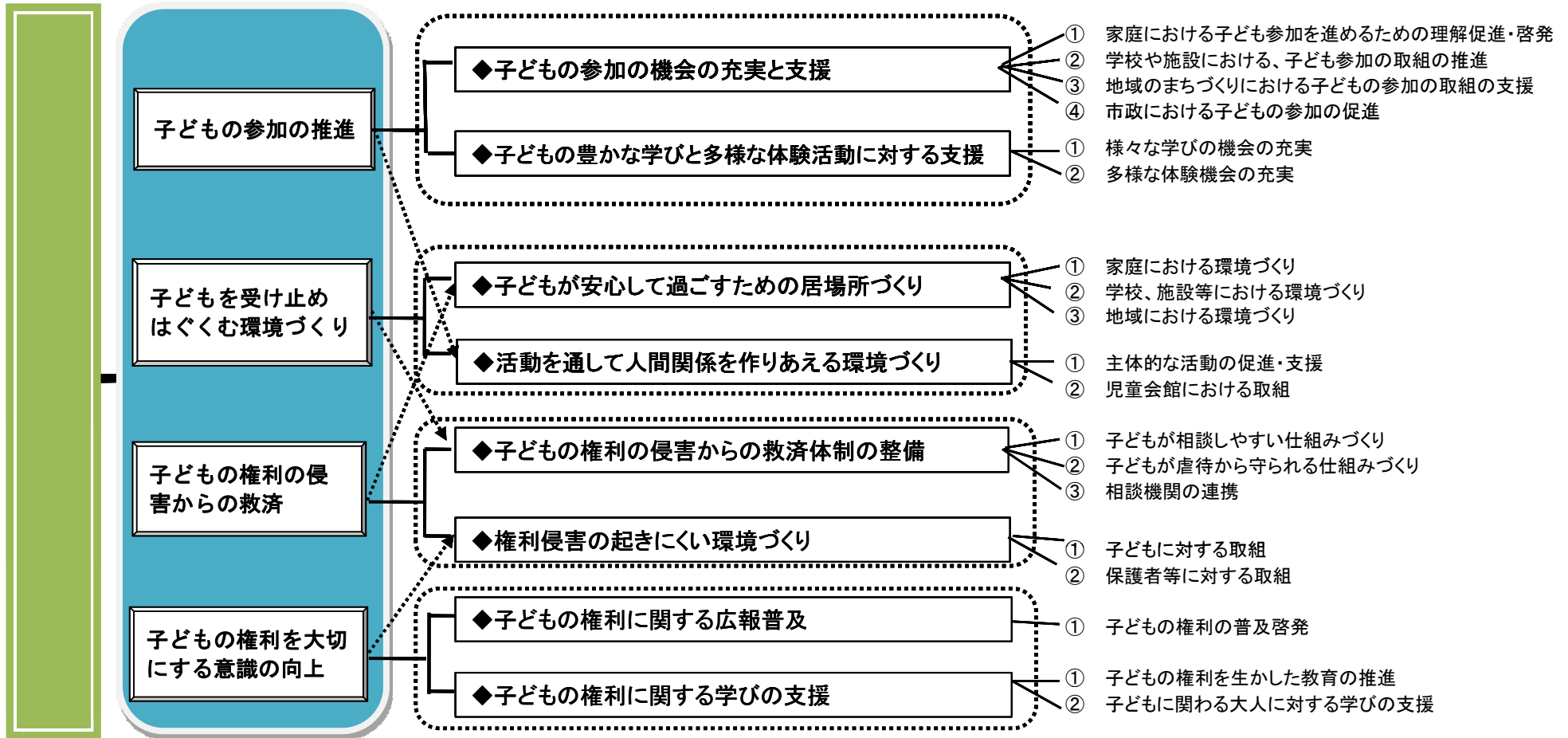
子どもの権利に関する推進計画の体系及び内容

【基本理念】

【基本目標】

【基本施策】

【想定される施策・事業】



基本目標 1 子どもの参加の推進

基本施策	概要																																												
<p>(1) 子どもの参加の機会の充実と支援</p>	<p>【意義】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが自分たちに関係する様々な場面で意見を表明し、参加することが保障されることにより、子どもの自立性、社会性をはぐくむなど健やかな成長・発達を支えることができる。 ・市の子どもにかかわる施策の全般に子どもの視点を取り入れることにより、子どもにやさしいまちづくりが進められる。 ・それぞれの場面で参加の機会を充実するとともに、地域においても参加の取組を進めるような支援を行う環境づくりが求められる。 <p>【現状：実態・意識調査ほか】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「子どもが意見を言ったり参加したりすることについて」 <table border="1" data-bbox="595 611 1361 925"> <thead> <tr> <th></th> <th>大人 『参加すべき』</th> <th>子ども 『言うことができる』</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>家庭の大事な物事やルール</td> <td>90.8%</td> <td>64.7%</td> </tr> <tr> <td>学校行事の企画運営</td> <td>79.7%</td> <td>53.7%</td> </tr> <tr> <td>学校の部活動</td> <td>79.1%</td> <td>54.0%</td> </tr> <tr> <td>学校の決まりごと</td> <td>66.3%</td> <td>51.3%</td> </tr> <tr> <td>地域行事の企画運営</td> <td>66.4%</td> <td>23.0%※</td> </tr> <tr> <td>地域のまちづくり</td> <td>82.7%</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>札幌市政</td> <td>55.3%</td> <td>15.8%※</td> </tr> </tbody> </table> <p>※「特にいいことがない」4割を超える回答</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ボランティア活動の有無」(子ども) <table border="1" data-bbox="595 1037 1209 1137"> <thead> <tr> <th></th> <th>子ども</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>『活動の経験がある』※1</td> <td>50.2%</td> </tr> <tr> <td>まったくしたことがない※2</td> <td>48.8%</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">↓</p> <table border="1" data-bbox="639 1171 1409 1317"> <thead> <tr> <th>※1：活動内容</th> <th>※2：したことがない理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公園・道路の清掃</td> <td>身近にする機会がない</td> </tr> <tr> <td>71.7%</td> <td>52.8%</td> </tr> <tr> <td>お年寄り等の世話</td> <td>何をすればよいかわからない</td> </tr> <tr> <td>18.6%</td> <td>11.4%</td> </tr> <tr> <td>子どもにスポーツを教える等</td> <td>興味がない</td> </tr> <tr> <td>16.8%</td> <td>11.1%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【取組の視点・例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○<u>家庭における子ども参加を進めるための理解促進・啓発</u> パンフレットや出前講座やフォーラム等を通じた広報啓発活動の充実 ○<u>学校や施設における、子ども参加の取組の推進</u> 児童会・生徒会活動を中心とした子どもの自主的な取組の推進 ○<u>地域のまちづくりにおける子どもの参加の取組の支援</u> 子どもが自発的に地域の活動に参加できるよう情報提供や、大人に対する啓発、子ども参加を支えるための人づくりとして、「子どもサポーター養成講座」などの実施 ○<u>市政における子どもの参加の促進</u> 子ども議会等による市政への参加の取組の実施、職員向け子どもの参加の手引きの活用等による市政への子ども参加の促進 		大人 『参加すべき』	子ども 『言うことができる』	家庭の大事な物事やルール	90.8%	64.7%	学校行事の企画運営	79.7%	53.7%	学校の部活動	79.1%	54.0%	学校の決まりごと	66.3%	51.3%	地域行事の企画運営	66.4%	23.0%※	地域のまちづくり	82.7%	—	札幌市政	55.3%	15.8%※		子ども	『活動の経験がある』※1	50.2%	まったくしたことがない※2	48.8%	※1：活動内容	※2：したことがない理由	公園・道路の清掃	身近にする機会がない	71.7%	52.8%	お年寄り等の世話	何をすればよいかわからない	18.6%	11.4%	子どもにスポーツを教える等	興味がない	16.8%	11.1%
	大人 『参加すべき』	子ども 『言うことができる』																																											
家庭の大事な物事やルール	90.8%	64.7%																																											
学校行事の企画運営	79.7%	53.7%																																											
学校の部活動	79.1%	54.0%																																											
学校の決まりごと	66.3%	51.3%																																											
地域行事の企画運営	66.4%	23.0%※																																											
地域のまちづくり	82.7%	—																																											
札幌市政	55.3%	15.8%※																																											
	子ども																																												
『活動の経験がある』※1	50.2%																																												
まったくしたことがない※2	48.8%																																												
※1：活動内容	※2：したことがない理由																																												
公園・道路の清掃	身近にする機会がない																																												
71.7%	52.8%																																												
お年寄り等の世話	何をすればよいかわからない																																												
18.6%	11.4%																																												
子どもにスポーツを教える等	興味がない																																												
16.8%	11.1%																																												

基本目標 1 子どもの参加の推進

基本施策	概要																																				
<p>(2) 子どもの豊かな学びと多様な体験活動に対する支援</p>	<p>【意義】</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもの人格形成には主体的な学びや多様な体験活動が重要であり、これらの活動を通して自立性や社会性などを身につけ、豊かな人間性をはぐくんでいく。このことから、子どもが意欲を高めるための学びの環境や多様な体験機会が得られるよう取組んでいく必要がある。 <p>【現状：実態・意識調査ほか】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「子どもが健やかに育つために必要だと思うこと」(大人) <table border="1" data-bbox="598 504 1197 649"> <tr> <td>家庭での親子のふれあい</td> <td>92.7%</td> </tr> <tr> <td>社会、文化などに関する、様々な体験をすること</td> <td>63.4%</td> </tr> <tr> <td>家庭での親の意識を変えること</td> <td>48.7%</td> </tr> <tr> <td>子どもが地域のまちづくり等に参加する</td> <td>48.2%</td> </tr> </table> 「札幌は子どもが自然、社会、文化体験しやすい環境だと思うか」 <table border="1" data-bbox="598 716 1093 862"> <thead> <tr> <th></th> <th>大人</th> <th>子ども</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>『思う』</td> <td>55.4%</td> <td>42.4%</td> </tr> <tr> <td>『思わない』</td> <td>27.9%</td> <td>39.3%</td> </tr> <tr> <td>わからない</td> <td>15.4%</td> <td>17.6%</td> </tr> </tbody> </table> 「学校や家庭生活以外で体験して欲しいこと」(大人) <table border="1" data-bbox="598 929 1173 1209"> <tr> <td>お年寄りとのふれあう</td> <td>76.5%</td> </tr> <tr> <td>障がいのある人とふれあう</td> <td>67.2%</td> </tr> <tr> <td>各種のボランティアへの参加</td> <td>57.3%</td> </tr> <tr> <td>身近な地域の社会の会社訪問、職業体験</td> <td>41.4%</td> </tr> <tr> <td>外国の人と積極的に交流</td> <td>41.4%</td> </tr> <tr> <td>地域の祭りに主体的に参加</td> <td>38.6%</td> </tr> <tr> <td>環境に配慮した取組への参加</td> <td>36.0%</td> </tr> <tr> <td>地域などでまちづくり活動に参加</td> <td>28.9%</td> </tr> </table> <p>【取組の視点・例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ <u>様々な学びの機会</u> 札幌らしい文化等、環境、読書、食育 ○ <u>多様な体験機会の充実</u> 職業体験、野外体験授業、芸術体験、身近なまちづくり体験 	家庭での親子のふれあい	92.7%	社会、文化などに関する、様々な体験をすること	63.4%	家庭での親の意識を変えること	48.7%	子どもが地域のまちづくり等に参加する	48.2%		大人	子ども	『思う』	55.4%	42.4%	『思わない』	27.9%	39.3%	わからない	15.4%	17.6%	お年寄りとのふれあう	76.5%	障がいのある人とふれあう	67.2%	各種のボランティアへの参加	57.3%	身近な地域の社会の会社訪問、職業体験	41.4%	外国の人と積極的に交流	41.4%	地域の祭りに主体的に参加	38.6%	環境に配慮した取組への参加	36.0%	地域などでまちづくり活動に参加	28.9%
家庭での親子のふれあい	92.7%																																				
社会、文化などに関する、様々な体験をすること	63.4%																																				
家庭での親の意識を変えること	48.7%																																				
子どもが地域のまちづくり等に参加する	48.2%																																				
	大人	子ども																																			
『思う』	55.4%	42.4%																																			
『思わない』	27.9%	39.3%																																			
わからない	15.4%	17.6%																																			
お年寄りとのふれあう	76.5%																																				
障がいのある人とふれあう	67.2%																																				
各種のボランティアへの参加	57.3%																																				
身近な地域の社会の会社訪問、職業体験	41.4%																																				
外国の人と積極的に交流	41.4%																																				
地域の祭りに主体的に参加	38.6%																																				
環境に配慮した取組への参加	36.0%																																				
地域などでまちづくり活動に参加	28.9%																																				

基本目標2 子どもを受けとめ、はぐくむ環境づくり

基本施策	概要																							
(1) 子どもが安心して過ごすための居場所づくり	<p>【意義】</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもの成長にとっての基盤として、家庭や学校、地域などにおいて自分自身が受けとめられていると実感することが重要であり、子どもが安心して日々の生活を過ごすことができる環境づくりが必要である。 																							
	<p>【現状：実態・意識調査より】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「自分のことをどう思うか」(子ども) 																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>『思う』</th> <th>『思わない』</th> <th>「無回答」</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自分のことが好きだ</td> <td>53.2%</td> <td>45.1%</td> <td>1.7%</td> </tr> <tr> <td>自分を大切に思ってくれる人がある</td> <td>84.6%</td> <td>14.1%</td> <td>1.3%</td> </tr> <tr> <td>自分は人から必要とされている</td> <td>67.6%</td> <td>30.5%</td> <td>1.9%</td> </tr> <tr> <td>ほかのだれかや社会のために何かをしてあげたい</td> <td>83.7%</td> <td>14.8%</td> <td>1.4%</td> </tr> </tbody> </table>		『思う』	『思わない』	「無回答」	自分のことが好きだ	53.2%	45.1%	1.7%	自分を大切に思ってくれる人がある	84.6%	14.1%	1.3%	自分は人から必要とされている	67.6%	30.5%	1.9%	ほかのだれかや社会のために何かをしてあげたい	83.7%	14.8%	1.4%			
		『思う』	『思わない』	「無回答」																				
	自分のことが好きだ	53.2%	45.1%	1.7%																				
	自分を大切に思ってくれる人がある	84.6%	14.1%	1.3%																				
	自分は人から必要とされている	67.6%	30.5%	1.9%																				
	ほかのだれかや社会のために何かをしてあげたい	83.7%	14.8%	1.4%																				
	<ul style="list-style-type: none"> 「ホッとで安心していられる場所」(子ども) 																							
	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>家で家族と過ごす場所</td> <td>39.6%</td> </tr> <tr> <td>自分の部屋</td> <td>37.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※他は1割以下</p>	家で家族と過ごす場所	39.6%	自分の部屋	37.3%																			
	家で家族と過ごす場所	39.6%																						
	自分の部屋	37.3%																						
	<ul style="list-style-type: none"> 「普段の生活の中で、周囲の子どもとの関わり」(大人) 																							
	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>出会ったときはあいさつをする</td> <td>64.6%</td> </tr> <tr> <td>良いことをしたときにはほめる</td> <td>39.9%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※関わりはない 23.8%</p>	出会ったときはあいさつをする	64.6%	良いことをしたときにはほめる	39.9%																			
	出会ったときはあいさつをする	64.6%																						
良いことをしたときにはほめる	39.9%																							
<p>↓</p> <p>関わりがない理由</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>近所に子どもがいない</td> <td>65.6%</td> </tr> <tr> <td>忙しくて時間がない</td> <td>21.2%</td> </tr> <tr> <td>近所の人に不審に思われる</td> <td>14.5%</td> </tr> <tr> <td>関わる方法がわからない</td> <td>11.3%</td> </tr> </tbody> </table>	近所に子どもがいない	65.6%	忙しくて時間がない	21.2%	近所の人に不審に思われる	14.5%	関わる方法がわからない	11.3%																
近所に子どもがいない	65.6%																							
忙しくて時間がない	21.2%																							
近所の人に不審に思われる	14.5%																							
関わる方法がわからない	11.3%																							
<ul style="list-style-type: none"> 「子どもが健やかに育つために必要だと思うこと」(大人) 																								
<table border="1"> <tbody> <tr> <td>家庭での親子のふれあい</td> <td>92.7%</td> </tr> <tr> <td>社会、文化などに関する様々な体験</td> <td>63.4%</td> </tr> <tr> <td>家庭での親の意識を変える</td> <td>48.7%</td> </tr> <tr> <td>子どもが地域のまちづくり等に参加する</td> <td>48.2%</td> </tr> </tbody> </table>	家庭での親子のふれあい	92.7%	社会、文化などに関する様々な体験	63.4%	家庭での親の意識を変える	48.7%	子どもが地域のまちづくり等に参加する	48.2%																
家庭での親子のふれあい	92.7%																							
社会、文化などに関する様々な体験	63.4%																							
家庭での親の意識を変える	48.7%																							
子どもが地域のまちづくり等に参加する	48.2%																							
<ul style="list-style-type: none"> 「保護者の態度について不満を感じたことがあるか」(子ども) 																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>『ある』</th> <th>『ない』</th> <th>わからない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>話をまじめに聞いてくれない</td> <td>33.1%</td> <td>56.6%</td> <td>9.2%</td> </tr> <tr> <td>けなしたり、ばかにしたりする</td> <td>22.9%</td> <td>68.6%</td> <td>7.2%</td> </tr> <tr> <td>意見を聞かず自分の意見を押し付ける</td> <td>21.6%</td> <td>69.1%</td> <td>8.0%</td> </tr> <tr> <td>態度や服装、友だちのことで口うるさく注意する</td> <td>26.6%</td> <td>65.7%</td> <td>6.5%</td> </tr> <tr> <td>その時の気分で態度が変わる</td> <td>44.2%</td> <td>47.6%</td> <td>7.3%</td> </tr> </tbody> </table>		『ある』	『ない』	わからない	話をまじめに聞いてくれない	33.1%	56.6%	9.2%	けなしたり、ばかにしたりする	22.9%	68.6%	7.2%	意見を聞かず自分の意見を押し付ける	21.6%	69.1%	8.0%	態度や服装、友だちのことで口うるさく注意する	26.6%	65.7%	6.5%	その時の気分で態度が変わる	44.2%	47.6%	7.3%
	『ある』	『ない』	わからない																					
話をまじめに聞いてくれない	33.1%	56.6%	9.2%																					
けなしたり、ばかにしたりする	22.9%	68.6%	7.2%																					
意見を聞かず自分の意見を押し付ける	21.6%	69.1%	8.0%																					
態度や服装、友だちのことで口うるさく注意する	26.6%	65.7%	6.5%																					
その時の気分で態度が変わる	44.2%	47.6%	7.3%																					
<p>【取組の視点・例】</p>																								
<p>○家庭における環境づくり 保護者に対する支援、啓発、ワークライフバランス</p>																								
<p>○学校、施設等における環境づくり いじめ対策など、ピアサポート</p>																								
<p>○地域における環境づくり 地域での活動の促進、安心してすごせる地域づくり、児童会館</p>																								

基本目標2 子どもを受けとめ、はぐくむ環境づくり

基本施策	概要																				
<p>(2) 活動を通して人間関係を作りあえる環境づくり</p>	<p>【意義】</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの健やかな成長のためには、子どもたちが安心して休み、遊び、活動し、友だちとの人間関係をつくる場が求められる。子どもの主体的な活動を通して他者との関係をつくり、その関係性の中で自分自身を確立していくことのできる環境づくりを進める必要がある。 <p>【現状：実態・意識調査ほか】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「最近1年間で、地域での参加や行動をしたこと」(子ども) <table border="1" data-bbox="598 515 1157 728"> <tr> <td>地域のお祭り</td> <td>72.3%</td> </tr> <tr> <td>電車やバスでお年寄りなどに席をゆずる</td> <td>32.3%</td> </tr> <tr> <td>地域のスポーツ大会等</td> <td>22.0%</td> </tr> <tr> <td>募金、献血</td> <td>20.4%</td> </tr> <tr> <td>地域の清掃、防災活動</td> <td>19.3%</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 「放課後や休日をどのようにすごしたいか」(子ども)について、 <table border="1" data-bbox="598 795 1157 974"> <tr> <td>友だちと遊んだり話したり</td> <td>73.1%</td> </tr> <tr> <td>一人で趣味を楽しんだり、静かに過ごす</td> <td>48.8%</td> </tr> <tr> <td>家族と過ごす</td> <td>34.9%</td> </tr> <tr> <td>外で遊んだり運動</td> <td>31.9%</td> </tr> <tr> <td>体育館など、室内で運動</td> <td>28.7%</td> </tr> </table> <p>【取組の視点・例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○主体的な活動の促進・支援 ボランティア活動、サークル活動など、子どもの主体的な活動の支援 ○児童会館における取組 子ども運営委員会 	地域のお祭り	72.3%	電車やバスでお年寄りなどに席をゆずる	32.3%	地域のスポーツ大会等	22.0%	募金、献血	20.4%	地域の清掃、防災活動	19.3%	友だちと遊んだり話したり	73.1%	一人で趣味を楽しんだり、静かに過ごす	48.8%	家族と過ごす	34.9%	外で遊んだり運動	31.9%	体育館など、室内で運動	28.7%
地域のお祭り	72.3%																				
電車やバスでお年寄りなどに席をゆずる	32.3%																				
地域のスポーツ大会等	22.0%																				
募金、献血	20.4%																				
地域の清掃、防災活動	19.3%																				
友だちと遊んだり話したり	73.1%																				
一人で趣味を楽しんだり、静かに過ごす	48.8%																				
家族と過ごす	34.9%																				
外で遊んだり運動	31.9%																				
体育館など、室内で運動	28.7%																				

基本目標3 子どもの権利侵害からの救済

基本施策	概要																																																																						
(1) 子どもの権利の侵害からの救済体制の整備	<p>【意義】</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもの権利侵害は、権利侵害自体が気付きにくい、閉鎖的なところで行われるといった特性を持っており、子どもの心身の成長に重大な影響を及ぼす。 子どもアシストセンターや児童相談所による対応、さらには学校や施設、地域等の連携により迅速かつ適切に救済を図る必要がある。 <p>【現状：実態・意識調査ほか】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「札幌市の児童虐待の受理件数の推移」 16年度 242件、17年度 245件、18年度 310件、19年度 478件、20年度 621件（札幌市児童福祉総合センター） 「今、いじめられていると思うか」 <table border="1" data-bbox="600 636 1398 779"> <thead> <tr> <th></th> <th>19年度</th> <th>20年度</th> <th>21年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学生：思う</td> <td>11.4%</td> <td>11.1%</td> <td>11.0%</td> </tr> <tr> <td>中学生：思う</td> <td>4.3%</td> <td>3.7%</td> <td>2.7%</td> </tr> <tr> <td>高校生：思う</td> <td>1.1%</td> <td>0.8%</td> <td>0.6%</td> </tr> </tbody> </table> <p>（札幌市教育委員会：「いじめの状況等に関する調査」）</p> <ul style="list-style-type: none"> 「札幌市で子どもの権利が守られているか」 <table border="1" data-bbox="600 853 1246 996"> <thead> <tr> <th></th> <th>大人</th> <th>子ども</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>『守られている』</td> <td>48.4%</td> <td>48.3%</td> </tr> <tr> <td>『守られていない』※</td> <td>15.4%</td> <td>21.3%</td> </tr> <tr> <td>わからない</td> <td>34.6%</td> <td>29.5%</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 「条例に定められている権利で『守られていない』と思うもの」 <table border="1" data-bbox="600 1037 1347 1211"> <thead> <tr> <th></th> <th>大人</th> <th>子ども</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>いじめ、虐待、体罰などから心や体が守られること</td> <td>37.6%</td> <td>45.5%</td> </tr> <tr> <td>障がい、民族、国籍、性別、家族のことなど、どんな理由にせよ、差別などを受けないこと</td> <td>30.5%</td> <td>31.6%</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 「子どもアシストセンターを知っているか」 <table border="1" data-bbox="600 1252 1246 1355"> <thead> <tr> <th></th> <th>大人</th> <th>子ども</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>『聞いたことがある』</td> <td>35.9%</td> <td>73.4%</td> </tr> <tr> <td>知らない</td> <td>61.8%</td> <td>25.6%</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 「相談機関で知っているところ、利用したところのあるところ」 <table border="1" data-bbox="600 1395 1219 1615"> <thead> <tr> <th></th> <th>大人</th> <th>子ども</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童相談所</td> <td>66.5%</td> <td>31.3%</td> </tr> <tr> <td>いじめ電話相談室</td> <td>42.0%</td> <td>39.8%</td> </tr> <tr> <td>子どもの人権 110 番</td> <td>27.9%</td> <td>13.6%</td> </tr> <tr> <td>チャイルドラインさっぽろ</td> <td>6.2%</td> <td>45.0%</td> </tr> <tr> <td>知っているところや利用したところはない</td> <td>24.5%</td> <td>34.4%</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 「どのようなところであれば相談してみようと思うか」（子ども） <table border="1" data-bbox="600 1655 1083 1758"> <tbody> <tr> <td>秘密が守られる</td> <td>50.2%</td> </tr> <tr> <td>どんな話でも聞いてうけとめてくれる</td> <td>48.5%</td> </tr> <tr> <td>問題の解決方法を教えてくれる</td> <td>40.1%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【取組の視点・例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子どもが相談しやすい仕組みづくり 気軽に相談できる工夫 ○子どもが虐待から守られる仕組みづくり 関係機関や地域のネットワークの充実 ○相談機関の連携 子どもや保護者等を対象とした相談窓口をはじめとする各種関係機関との情報提供を進める。 		19年度	20年度	21年度	小学生：思う	11.4%	11.1%	11.0%	中学生：思う	4.3%	3.7%	2.7%	高校生：思う	1.1%	0.8%	0.6%		大人	子ども	『守られている』	48.4%	48.3%	『守られていない』※	15.4%	21.3%	わからない	34.6%	29.5%		大人	子ども	いじめ、虐待、体罰などから心や体が守られること	37.6%	45.5%	障がい、民族、国籍、性別、家族のことなど、どんな理由にせよ、差別などを受けないこと	30.5%	31.6%		大人	子ども	『聞いたことがある』	35.9%	73.4%	知らない	61.8%	25.6%		大人	子ども	児童相談所	66.5%	31.3%	いじめ電話相談室	42.0%	39.8%	子どもの人権 110 番	27.9%	13.6%	チャイルドラインさっぽろ	6.2%	45.0%	知っているところや利用したところはない	24.5%	34.4%	秘密が守られる	50.2%	どんな話でも聞いてうけとめてくれる	48.5%	問題の解決方法を教えてくれる	40.1%
		19年度	20年度	21年度																																																																			
	小学生：思う	11.4%	11.1%	11.0%																																																																			
	中学生：思う	4.3%	3.7%	2.7%																																																																			
	高校生：思う	1.1%	0.8%	0.6%																																																																			
		大人	子ども																																																																				
	『守られている』	48.4%	48.3%																																																																				
	『守られていない』※	15.4%	21.3%																																																																				
	わからない	34.6%	29.5%																																																																				
		大人	子ども																																																																				
	いじめ、虐待、体罰などから心や体が守られること	37.6%	45.5%																																																																				
	障がい、民族、国籍、性別、家族のことなど、どんな理由にせよ、差別などを受けないこと	30.5%	31.6%																																																																				
		大人	子ども																																																																				
	『聞いたことがある』	35.9%	73.4%																																																																				
知らない	61.8%	25.6%																																																																					
	大人	子ども																																																																					
児童相談所	66.5%	31.3%																																																																					
いじめ電話相談室	42.0%	39.8%																																																																					
子どもの人権 110 番	27.9%	13.6%																																																																					
チャイルドラインさっぽろ	6.2%	45.0%																																																																					
知っているところや利用したところはない	24.5%	34.4%																																																																					
秘密が守られる	50.2%																																																																						
どんな話でも聞いてうけとめてくれる	48.5%																																																																						
問題の解決方法を教えてくれる	40.1%																																																																						

基本目標3 子どもの権利侵害からの救済

基本施策	概要																											
<p>(2) 権利侵害の起きにくい環境づくり</p>	<p>【意義】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現に悩み苦しんでいる子どもを救済することはもちろんであるが、子どもは権利侵害を受けていることを意識しにくいといった特徴を踏まえ、まずは子どもが権利侵害について理解する必要がある。保護者等についても同様に権利侵害についての理解が必要であり、さらには、保護者等が気軽に相談できる環境を整えるなど、権利侵害が起きにくい社会を作っていく必要がある。 <p>【現状：実態・意識調査ほか】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「子どもの権利条例の認知度」 <table border="1" data-bbox="598 555 1220 667"> <thead> <tr> <th></th> <th>大人</th> <th>子ども</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>『聞いたことがある』</td> <td>51.0%</td> <td>35.6%</td> </tr> <tr> <td>知らない</td> <td>47.4%</td> <td>63.2%</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・「子育てに関して日頃悩んでいること、または気になること」 (保護者) <table border="1" data-bbox="598 772 1252 1019"> <thead> <tr> <th></th> <th>小学校 低学年</th> <th>就学前 児童</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子どもの教育に関すること</td> <td>42.8%</td> <td>31.0%</td> </tr> <tr> <td>子どもを叱りすぎている気がする</td> <td>40.0%</td> <td>42.0%</td> </tr> <tr> <td>子どもとの時間を十分にとれない</td> <td>24.9%</td> <td>22.4%</td> </tr> <tr> <td>仕事や自分のやりたいことが十分にできない</td> <td>23.9%</td> <td>35.5%</td> </tr> <tr> <td>食事や栄養に関すること</td> <td>17.5%</td> <td>31.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(平成20年度札幌市子育てに関する実態・意向調査)</p> <p>【取組の視点・例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○<u>子どもに対する取組</u> 権利学習、人権教育 ○<u>保護者等に対する取組</u> 理解促進、相談等 		大人	子ども	『聞いたことがある』	51.0%	35.6%	知らない	47.4%	63.2%		小学校 低学年	就学前 児童	子どもの教育に関すること	42.8%	31.0%	子どもを叱りすぎている気がする	40.0%	42.0%	子どもとの時間を十分にとれない	24.9%	22.4%	仕事や自分のやりたいことが十分にできない	23.9%	35.5%	食事や栄養に関すること	17.5%	31.3%
	大人	子ども																										
『聞いたことがある』	51.0%	35.6%																										
知らない	47.4%	63.2%																										
	小学校 低学年	就学前 児童																										
子どもの教育に関すること	42.8%	31.0%																										
子どもを叱りすぎている気がする	40.0%	42.0%																										
子どもとの時間を十分にとれない	24.9%	22.4%																										
仕事や自分のやりたいことが十分にできない	23.9%	35.5%																										
食事や栄養に関すること	17.5%	31.3%																										

基本目標 4 子どもの権利を大切にすることの意識の向上

基本施策	概要																																					
<p>(1) 子どもの権利に関する広報普及</p>	<p>【意義】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・条例を実効性のあるものとするために、すべての市民が子どもの権利について理解を深め、子どもの権利を尊重した取組を行っていくことが求められる。そのためには、様々な機会を捉え、積極的に広報普及に取組む必要がある。 <p>【現状：実態・意識調査ほか】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「子どもの権利条例の認知度」 <table border="1" data-bbox="598 481 1220 593"> <thead> <tr> <th></th> <th>大人</th> <th>子ども</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>『聞いたことがある』</td> <td>51.0%</td> <td>35.6%※</td> </tr> <tr> <td>知らない</td> <td>47.4%</td> <td>63.2%</td> </tr> </tbody> </table> <p>↓</p> <p>※「条例の認知経路」</p> <table border="1" data-bbox="694 660 1197 884"> <tbody> <tr> <td>学校の授業</td> <td>45.8%</td> </tr> <tr> <td>パンフレット、チラシ</td> <td>36.3%</td> </tr> <tr> <td>テレビやラジオ、新聞</td> <td>19.5%</td> </tr> <tr> <td>家族や友だち</td> <td>6.5%</td> </tr> <tr> <td>ホームページ</td> <td>2.1%</td> </tr> <tr> <td>イベントなど</td> <td>1.7%</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・「子どもの権利や子どもに関係する事業で知っているもの」(子ども) <table border="1" data-bbox="598 940 1332 1366"> <tbody> <tr> <td>週2回、中学生は夜7時まで高校生は夜9時まで利用時間を延長している児童会館がある</td> <td>35.5%</td> </tr> <tr> <td>アシストセンターには子どもの相談専用の無料の電話番号がある</td> <td>24.1%</td> </tr> <tr> <td>すべての児童会館で子どもたちが行事の企画などを話し合ったり、決めたりしている</td> <td>23.0%</td> </tr> <tr> <td>札幌市のホームページには色々な子ども向けのページがある</td> <td>20.9%</td> </tr> <tr> <td>子ども議会</td> <td>17.9%</td> </tr> <tr> <td>条例についてのパンフレットがある</td> <td>16.6%</td> </tr> <tr> <td>アシストセンターは土曜日にも相談できる</td> <td>13.2%</td> </tr> <tr> <td>11月20日を権利の日と決めている</td> <td>7.2%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【取組の視点・例】</p> <p>○子どもの権利の普及啓発</p> <p>パンフレット等の広報物（大人向け、子ども向け）や子どもの権利の日のイベントの実施等</p>		大人	子ども	『聞いたことがある』	51.0%	35.6%※	知らない	47.4%	63.2%	学校の授業	45.8%	パンフレット、チラシ	36.3%	テレビやラジオ、新聞	19.5%	家族や友だち	6.5%	ホームページ	2.1%	イベントなど	1.7%	週2回、中学生は夜7時まで高校生は夜9時まで利用時間を延長している児童会館がある	35.5%	アシストセンターには子どもの相談専用の無料の電話番号がある	24.1%	すべての児童会館で子どもたちが行事の企画などを話し合ったり、決めたりしている	23.0%	札幌市のホームページには色々な子ども向けのページがある	20.9%	子ども議会	17.9%	条例についてのパンフレットがある	16.6%	アシストセンターは土曜日にも相談できる	13.2%	11月20日を権利の日と決めている	7.2%
	大人	子ども																																				
『聞いたことがある』	51.0%	35.6%※																																				
知らない	47.4%	63.2%																																				
学校の授業	45.8%																																					
パンフレット、チラシ	36.3%																																					
テレビやラジオ、新聞	19.5%																																					
家族や友だち	6.5%																																					
ホームページ	2.1%																																					
イベントなど	1.7%																																					
週2回、中学生は夜7時まで高校生は夜9時まで利用時間を延長している児童会館がある	35.5%																																					
アシストセンターには子どもの相談専用の無料の電話番号がある	24.1%																																					
すべての児童会館で子どもたちが行事の企画などを話し合ったり、決めたりしている	23.0%																																					
札幌市のホームページには色々な子ども向けのページがある	20.9%																																					
子ども議会	17.9%																																					
条例についてのパンフレットがある	16.6%																																					
アシストセンターは土曜日にも相談できる	13.2%																																					
11月20日を権利の日と決めている	7.2%																																					

基本目標 4 子どもの権利を大切にす意識の向上

基本施策	概要						
<p>(2) 子どもの権利に関する学びの支援</p>	<p>【意義】</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもが正しく権利を行使するためには、子どもの権利を正しく学び、理解する必要がある。また、大人特に子どもに直接関わる大人が、子どもの権利の保障することの大切さを理解する必要がある。 <p>【平成 21 年度札幌市教育委員会調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもの権利に関する教員研修の実施 <table border="1" data-bbox="598 448 1308 560"> <tr> <td>市立学校（幼稚園、小中高校）管理職</td> <td>すべて</td> </tr> <tr> <td>10 年経験者研修</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>校内研修</td> <td>64%の学校</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 子どもの権利の理念を生かした公開授業の実施 小・中学校各 1 校（21 年度） 各学校において条例の趣旨を生かした教育活動の一層の充実が図られるよう「子どもの権利に関する指導の手引」を作成し、すべての市立学校教員に配布。（21 年度） <p>【取組の視点・例】</p> <p>○<u>子どもの権利を生かした教育の推進</u> 公開授業、ピアサポートの取組、授業実践に対する支援等による学校における取組</p> <p>○<u>子どもに関わる大人に対する学びの支援</u> 出前講座、研修等</p>	市立学校（幼稚園、小中高校）管理職	すべて	10 年経験者研修	—	校内研修	64%の学校
市立学校（幼稚園、小中高校）管理職	すべて						
10 年経験者研修	—						
校内研修	64%の学校						